

科目名					授業の種類	授業担当者
子どもと言葉					講義	水口 崇
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修	
1	1	15	8	前期	幼児: 選択必修	保育士: 選択
[授業の目的・ねらい]						
(1) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わうことを理論的に学ぶ。 (2) 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わうことを理論的に学ぶ。 (3) 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育者や友達と心を通わせることを学ぶ。						
[授業全体の内容と概要]						
言葉の獲得に関する領域「言葉」の指導の基盤となる、言葉の意義や機能、言葉の発達過程に関する基本的知識を理解する。その上で、子どもが自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わったり、他者と言葉で伝え合ったりする喜びを感じるための教材や実践についての基礎的知識を身に付ける。また、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践についても考える。						
[受講上の注意事項]						
特になし						
[使用テキスト]				[評価基準]		
幼稚園教育要領解説				授業に加え、自習によって知識・技能が高まっている。レポート(50%)と試験(50%)によって評価を行う。		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]						
回	項 目		授 業 内 容			
1	言葉の意義と機能		言葉の意義や機能			
2	言葉の発達①		乳児期の言葉の発達			
3	言葉の発達②		幼児期・学童期の言葉の発達			
4	子どもの言葉を育てる教材や実践①		子どもの言葉を育てる教材の種類や保育への取り入れ方			
5	子どもの言葉を育てる教材や実践②		子どもの言葉を育てる実践			
6	言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践①		言葉に対する感覚を豊かにする教材の種類や保育への取り入れ方			
7	言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践②		言葉に対する感覚を豊かにする実践			
8	まとめと理解の確認		全体をまとめた後、試験を行う			
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
実務教員としての経歴						
実務経験と授業の関連						